

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

		感染症対策事業（消毒）			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係	課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実		総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 1 予防事業費
-----	---------	-----------	---------	------------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
	①浄化槽を設置している家庭での大雨による汚水の溢水後、市民から依頼のあった宅地内及び周辺道路 ②感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症予防法」）第27条第2項に基づく保健所から消毒する指示があった場所	消毒が必要となった箇所数 ①大雨による汚水の溢水によるもの ②感染症予防法によるもの
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）
	①感染症の発生防止及びまん延防止 ②感染症のまん延防止	①大雨による溢水後感染症の発生防止及びまん延件数 ②感染症発生後の感染症のまん延件数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）
	①汚水の溢れた宅地内の消毒 ②保健所から指示のあった場所の消毒	消毒を行った日数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	件	① 0 ② 0	① 1 ② 0	① 0 ② 0	
	成果指標	②の数値	件	① 0 ② 0	① 0 ② 0	① 0 ② 0	
	目 標	②の目標値				0	
		目標値設定の考え方	患者が発生した場合にあっては感染症の蔓延が無い状況				
	活動指標	③の数値	日	0	1	0	

3 経費	事業費（実績）		円	2,381	41,447	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	2,381	41,447	0	
		特定財源	円			0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人		2.0	0.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	0	8,400	0		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	2,381	49,847	0		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	伝染病予防法（明治30年）に基づき実施（平成11年に廃止。感染症予防法となる。）
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	開始当時（昭和28年）は、赤痢発症等による消毒を実施していたが、近年は、感染症予防法に基づく消毒はなく、大雨による溢水後の消毒を平成23年度、平成26年度に実施したのみである。平成28年度から、大雨による溢水時の消毒は、下水道については汚水と雨水が分離していることから、浄化槽を設置しているご家庭で汚水が溢れた場合のみ対象とした。	

仕 事 の 内 容	感染症対策事業（消毒）			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係 課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	なし				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
なし					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容				
	・感染症発生に伴う保健所からの指導で実施する消毒は近年実施実績がない。発生時には、業者への委託となるが、その範囲や手順等、あらかじめ確認しておく必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
・HPに掲載中の水害時の衛生対策と消毒方法の内容について確認した。					
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
・水害時の衛生対策と消毒方法の内容について、市民に正しい知識を持ってもらう。					
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	・HPに掲載中の水害時の衛生対策と消毒方法の内容について、内容の充実を図る。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
・感染症発生時には、保健所や近隣市との連携した対策を進める必要があることから、感染症地域医療連携 多摩立川ブロック協議会からの情報に留意し、準備しておく。					
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は削減する。